

エコバッグを清潔に保つための 5つのポイント

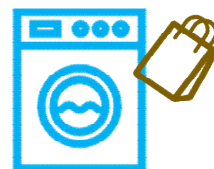


エコバッグは、コンパクトに^{たた}畳むことができ^かて^{もの}買い物に^{べんり}便利なアイテムです。
エコバッグに^{しょくひん}食品を入れた^い後は、^あ野菜に^{やさい}付いて^ついた^{つち}土、^{しょくひん}食品の^{しる}汁などが^{ふちやく}付着したり、^{のこ}残ってしまったりすることがあり、^{よご}汚れや^{げんいん}ニオイの^{げんいん}原因になります。
また、^み見た^め目には^{よご}汚れていなくても、^{しめ}湿ったままにしておくと^{さいきん}細菌が^{ぞうしょく}増殖します。

エコバッグを^{えいせい}衛生的に^{つか}使うために、^{ふだん}普段から^{いしき}意識したい
5つの^{しょうかい}ポイントを紹介します。



その① ^{ていきてき}定期的に^{あら}洗う



- ・エコバッグの^{とりあつか}取扱い^{ひょうじ}表示などに^{したが}従い、^{せんたくき}洗濯機^{てあら}か^{あら}手洗いで洗いましょう。
- ・洗った後は、^{あら}しっかりと^あ乾か^{かわ}しましょう。

その② にく さかな やさい ぶくろ い 肉、魚、野菜はポリ袋に入れる

- にく さかな しる つち ほか しょくざい ふちやく 肉や魚の汁、野菜の土がエコバッグや他の食材に付着しないよう、
ぶくろ い 汁漏れが心配な肉や魚、土の付いた野菜はポリ袋に入れましょう。
- しょう ぶくろ さいりよう てきせつ す 使用したポリ袋は、再利用せず、適切に捨てましょう。

その③ じゅんばん き エコバッグへ入れる順番に気をつける

- にく さかな れいぞう れいとうしょくひん あたた みつちやく 肉、魚、冷蔵・冷凍食品などはまとめて入れて、温かいものと密着し
ないように入れましょう。
- かた おも した にもつ あんてい しょくひん しる 硬いものや重たいものを下に入れましょう。荷物が安定し、食品の汁
そこ たい にもつ あんてい がこぼれにくくなります。底が平らなエコバッグも荷物が安定します。

その④ しょくひん にちようひん くべつ 食品と日用品を入れるエコバッグを区別する

- 食品と日用品など入れるバッグは使い分けると、
えいせいてき しょう 衛生的に使用できます。



その⑤ も はこ たんじかん エコバッグの持ち運びは、短時間にする

- にく さかな れいぞう れいとうしょくひん も はこ さい 肉、魚、冷蔵・冷凍食品などが入ったエコバッグを持ち運ぶ際には、
たんじかん いえ もど ただ れいぞうこ 短時間で家に戻り、直ちに冷蔵庫に入れましょう。
- くるま すず えいせいてき ばしょ お 車で運ぶ場合は、涼しく衛生的な場所に置きましょう。
- くるま お 車のトランクに置くのを避けましょう。